

第2期日吉津村海浜運動公園再整備事業 整備内容

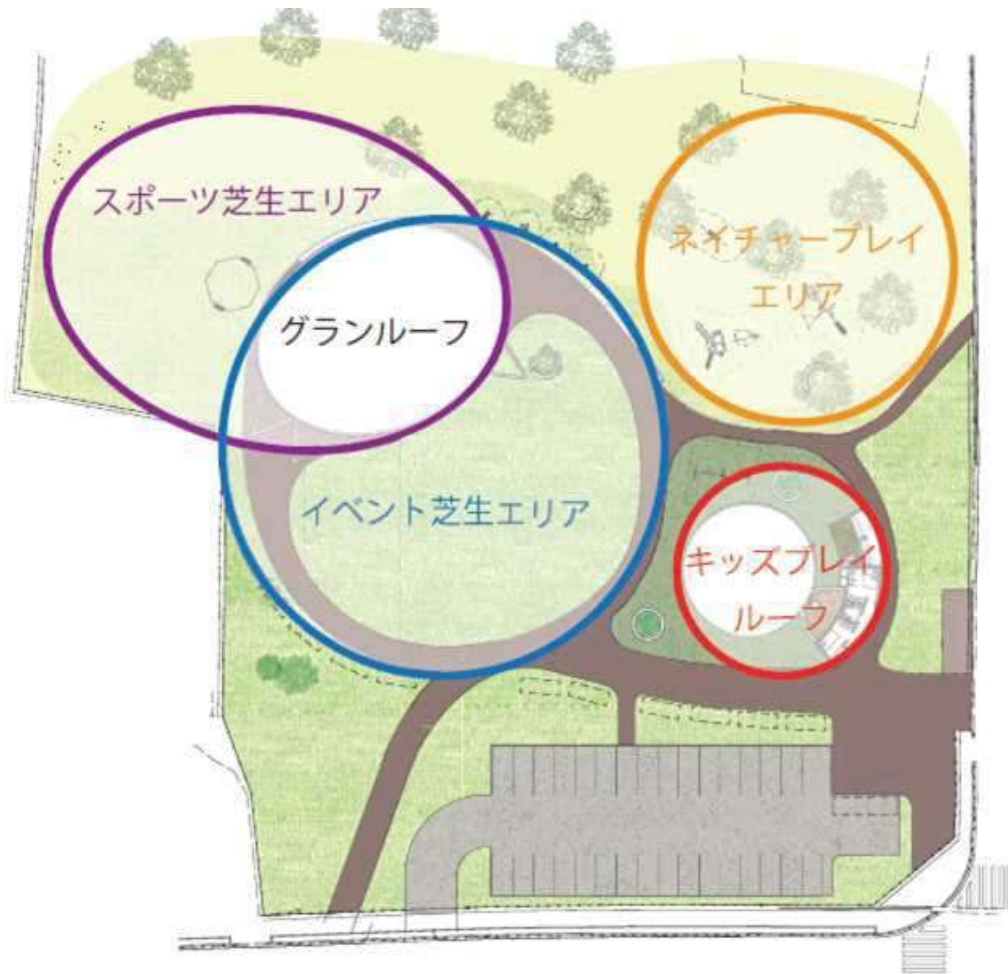
※本資料は提案時の資料をもとに住民の方々への説明資料として編集したものです。



自然とあそぶ、みんなをつなげる、おおやね広場

自然と調和し、多世代の交流と村の未来をはぐくむ「緑のウェルビーイング拠点」として、多世代が日常的に楽しめる居場所になる事と、近隣の街から日吉津村へ訪れるきっかけとなるイベント時の使いやすさを両立し、維持管理のしやすい高い耐久性・汎用性・拡張性をもった施設整備を行う。





※計画図は提案段階のもの。

1. 子育て世代の交流の機能の創出

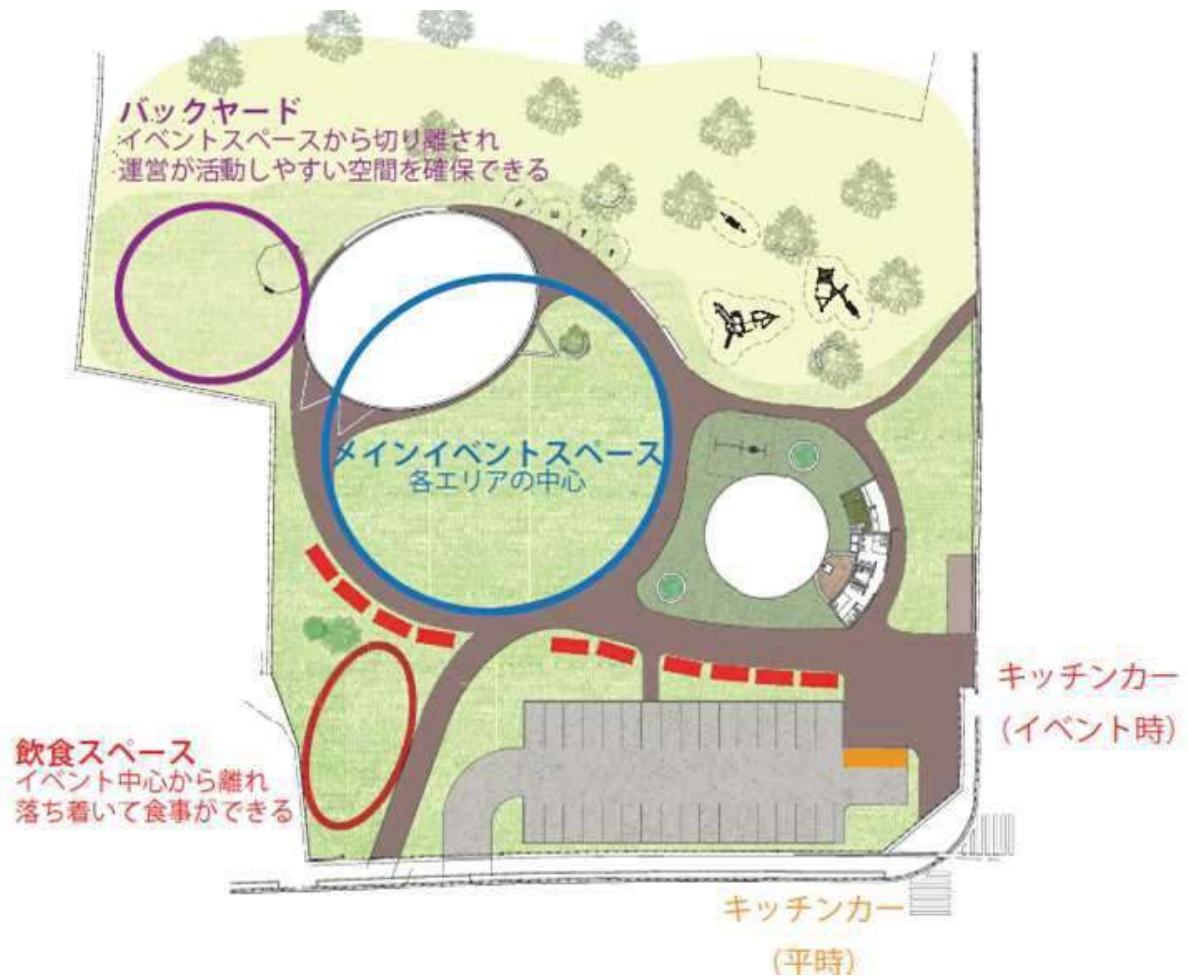
→公園の入り口からアクセスしやすく、トイレ・水場が揃った位置に、全天候型の屋根に覆われた遊具エリアを計画する。子どもの好奇心を刺激する遊具を中心に、子ども同士で安全にあそび、みまもりながら大人の交流が広がる空間「キッズプレイルーフ」を用意する。

2. 多様な活動と交流の促進

→2つの芝生エリア（イベント芝生エリア/スポーツ芝生エリア）とその中心にあるグランルーフに多様な世代の交流を促進する仕掛けを組み込む。そこに集まった人で楽しめるケージコート。雨天時でも使えるバスケットコート。テニスやサッカーの壁あてができるRC壁。それらを見守る休憩スペース、多世代が様々な球技を通して交流することができる。

3. 緑地景観の保存と活用

→黒松林の中に自然環境を活かした遊歩道を整備する。人々が黒松林の中に入る仕組みとしてネット遊具を配置した「ネイチャープレイエリア」を設置。簡易のアスレチック遊具をきっかけに、遊びを考える場所として、また親世代が自分たちの子どもの時の遊びを子世代に伝える空間とする。



※計画図は提案段階のもの。

4. 賑わい創出とエリア連携

→常時、キッチンカーが出店できる場所を交差点側の公園入り口近くの駐車場内に計画し、許可証を受け取れば、管理者不在でも安全に出店できる汎用性、拡張性を持たせる。イベント時は、イベント運営者の誘導の元、イベント芝生エリアを囲うようにキッチンカーを展開できる区画を整備する。

5. 民間活力を導入した魅力向上

→知育遊具に精通する遊具メーカーとコラボレーションし、遊びから学びを得ることのできる環境整備を行う。

6. 開かれた多目的利用の推進

→様々なイベントに対応できるよう、グランルーフに電源を用意する。その他、イベント時にミストシャワーが使用可能なように給水設備を用意。イベント時の賑わいの創出には明快なゾーニングが必要不可欠で、イベントの中心はイベント芝生エリアとグランルーフ、イベントのバックヤードはスポーツ芝生エリア、飲食スペースは駐車場左手の芝生広場と園路や施設により自然に用途が分かれるように整備する。

■利用者想定

0歳～ 6歳

キッズプレイルーフ内の幼児向け遊具で、全天候屋根の下、安心安全に遊ぶ。

3歳～ 12歳

ネイチャープレイエリアでのネット遊具や木登りで体の動かし方を学ぶ。

6歳～ 12歳

集団での遊びや球技などルールや集団行動に沿って遊ぶ。

13歳～ 18歳

技能上達のための練習や体力作りなど目標ををたてて運動する。

19歳～

健康維持や体力づくりのため運動する。

■利用者想定に合わせたゾーニング

キッズプレイルーフ：0-6歳

子どもにとっても親にとって「はじめて」でも安心快適な空間。大屋根で天候を気にせず、体力の少ない子どもでも直射日光にさらされることなく遊ぶことができる。また親のために、エリアの中心に、子どもを見守りやすい位置に休憩スペースを整備する。

ネイチャープレイエリア：3-12歳

黒松の防風林のなかでネット遊具や木登り、自然の中で、昆虫や植物の発見することで、子どもの世界をひろげる空間。木陰にベンチを配置し、散策の際のちょっとした休憩や、遊具で遊ぶ子供の親の見守り場所を整備する。

スポーツ芝生エリア：6歳～シニア

様々な球技の練習等に使用できる空間。第一期再整備事業で改修された予約制の運動場と差別化し、気軽に、少人数が集まり、遊べる球技エリアを整備する。スポーツを通して多様な世代の自然な交流が生み出す。

イベント芝生エリア：全世代

マルシェなどのイベント時にランドマークとなるグランルーフを中心に人がつどい、活気が生まれる第二期再整備事業の中核エリア。雨天時でも屋根の下でイベントが可能のほか、イベント規模に合わせて他のエリアに拡張して利用することができる。

■多世代交流の実現性

安心安全にあそべる幼児のためのエリア、活発に運動する小学生以上のためのエリアを明確に分け整備する。

海浜公園の中心に多世代交流のイベント芝生エリアとグランルーフを配置する。各エリアで起こる様々な世代の活動が、中心エリアにはみ出し、自然と交流のきっかけが生まれる。また、全てのエリアを園路が緩やかにつなぎ、来園者がそれぞれの目的（散歩、ランニング、子連れのピクニックなど）で訪れた結果、自然と交差するように動線（ウォークブル・ネットワーク）を計画する。

フィットネス器具を使うシニア、遊具で遊ぶ子ども、その周りを歩く人が、移動の過程で自然と視線を交わし、すれ違う機会を最大化する。

■酷暑日、降雨、降雪などへの対策

- ・酷暑日への対策：大屋根（グランルーフ・キッズプレイルーフ）による日射遮蔽
単に屋根をかけるだけでなく、大山からの風や海風が抜けるように屋根の高さや配置（隙間）をコントロールし、熱がこもらない半屋外の『微気候』を創出する。
幼児向けのキッズプレイルーフは高さを抑えることで、より確実に日陰を提供する。
- ・降雨への対策：「全天候型の活動拠点」と「安全な水処理」
雨天時でも「遊びに行ける場所」として2種類の全天候型スペースを確保する。
雨の日でも子どもたちが体を動かして遊べ、マルシェ等のイベントも天候に左右されず開催できるよう、大屋根の下に十分な広さの半屋外空間を確保しています。これにより、天候による公園の稼働率低下を防ぐ。
- ・水たまりを防ぐランドスケープと歩行者の安全
豪雨に備え、広場全体で適切な雨水排水設備を整備します。屋根下の床材は雨の吹き込み時でも滑りにくい表面仕上げ（防滑性）とし、転倒事故を防ぐ。
- ・落雪の確実なコントロール
グランルーフの設計において最も配慮しているのが積雪と落雪のコントロール。適切な屋根勾配、落雪する位置をあらかじめ誘導し、屋根下の活動空間と安全な歩行動線（ウォークブルネットワーク）を守る配慮を行う。
- ・雪遊びの場としての活用（ポジティブな転換）：
一方で、公園内の芝生広場は、冬場には子どもたちの安全なそり滑りや雪遊びの場として機能させることもできる。危険な落雪エリアと、安全に雪を楽しめるエリアを明快にゾーニングすることで、冬場でも多世代が楽しめる公園の風景を作る。

設置遊具のコンセプト



芝生広場のもとからある自然のエリア特徴を捉え、3つの特徴のある遊具エリアを配置する。

- ①アクセスしやすい位置に子育て世代が安心してあそべる全天候型の遊具エリア
- ②自然林の黒松をくぐりぬけながらアスレチックを楽しむネイチャープレイエリア
- ③芝生エリア
 - ・スポーツ芝生エリア（小学校高学年～シニア）
 - ・イベント芝生エリア（全世代）



その他コンセプト

■周辺との一体感

世代ごとに異なるスケール感やアクティビティの風景を、物理的な壁で分断するのではなく、大屋根を中心とした大らかな環境の下でグラデーションのように繋ぐ。特定の目的を持たない『エリアニュートラルな余白（芝生広場や屋根の間の空間）』を設けることで、多様な世代の風景が自然に交じり合う、持続可能で美しい景観を形成する。

■インクルーシブデザインに配慮したコンセプト

①「遊ぶ・参加する」インクルーシブ：遊びのグラデーション

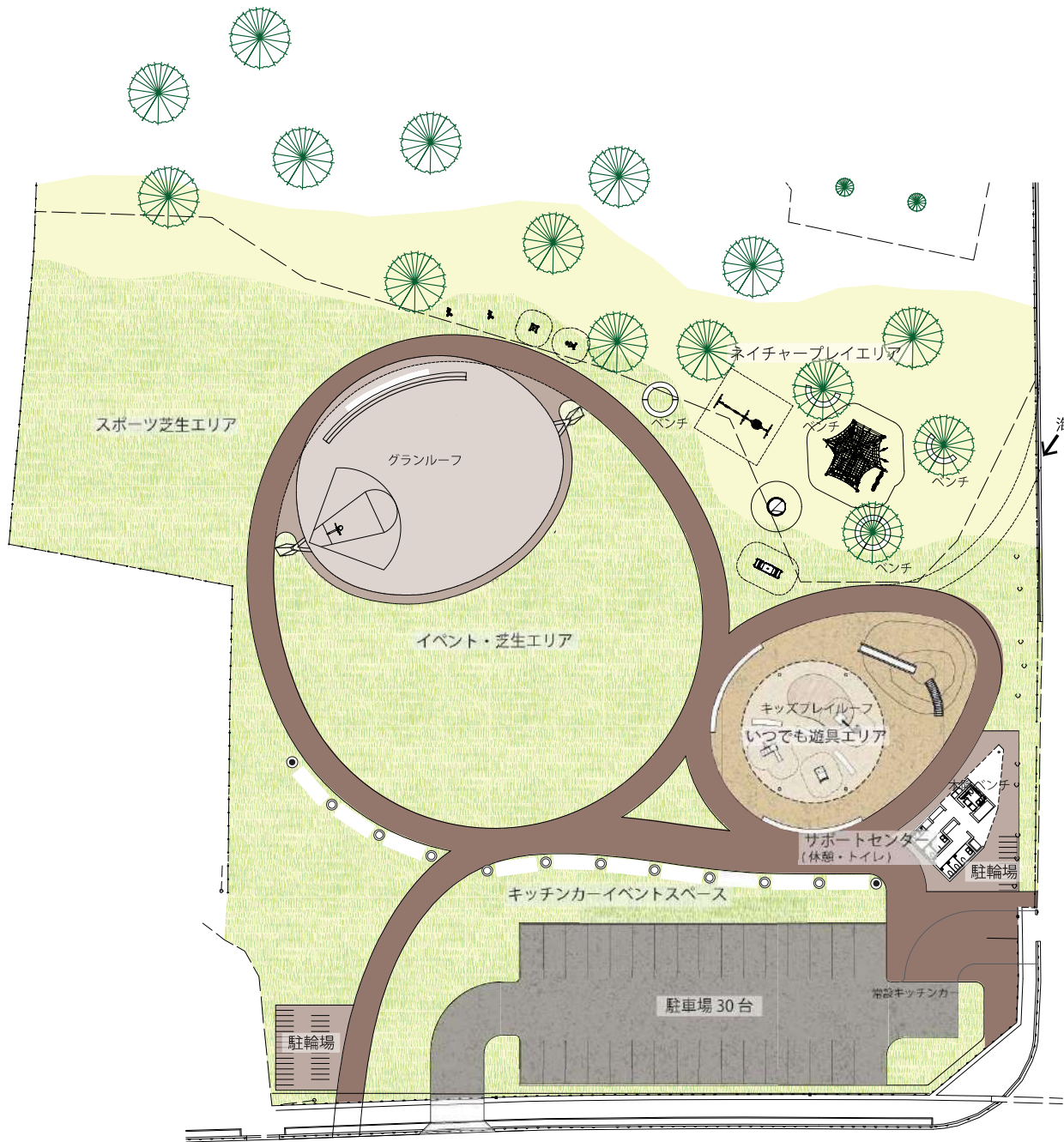
障がいの有無や運動能力の差に関わらず、同じ空間で楽しむことができる環境を整備する。エリアの分断を行わず、かわりにインクルーシブ遊具をシームレスに（境目なく）配置する。また、高度な運動能力を必要とする遊具から、感覚遊び（砂、水、音、光など）を楽しめる静かなエリアまで、『遊びのグラデーション』を設けることで、自分のペースに合わせて遊びを選択でき、すべての子どもが同じ空間を共有するデザインとする。

②「滞在する・見守る」インクルーシブ：車椅子・ベビーカーを想定した「輪」のデザイン








車椅子やベビーカーを利用する方が、通路の端に追いやられることなく、家族や友人と『同じ輪の中』で過ごせる空間を計画する。具体的には、休憩スペースのベンチを連続させるのではなく、意図的に『車椅子やベビーカーが入り込める幅の余白（スペース）』を随所に設ける。大屋根（グランルーフ）の下でも、誰もが特等席でアクティビティを観覧し、共に滞在できる心地よい居場所を創出する。

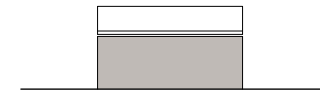
③感覚過敏への配慮：「カームダウン」できる余白

物理的なバリアフリーだけでなく、感覚過敏を持つお子様への配慮もインクルーシブデザインの重要な要素。公園全体が常に賑やかで刺激の強い空間になることを避け、木陰や少し奥まった芝生エリアに、視線や音を適度に遮り、落ち着いてクールダウン（カームダウン）できる『静かな余白空間』を意図的に配置する。

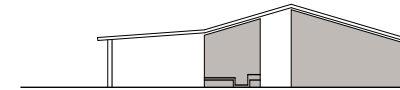


<凡例> キャンプ場と同じ舗装色を中心に、自然と調和したカラースキーム

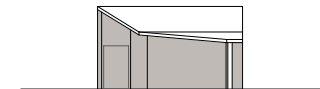
-  …芝生
-  …ゴムチップ舗装
-  …人工芝
-  …アスファルト舗装
-  …カラーアスファルト舗装
-  …庭園灯とコンセント 2,000W 以上
-  …庭園灯



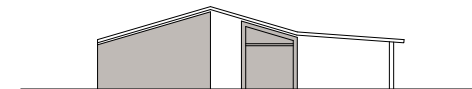
南西 立面図




北西 立面図



北東 立面図



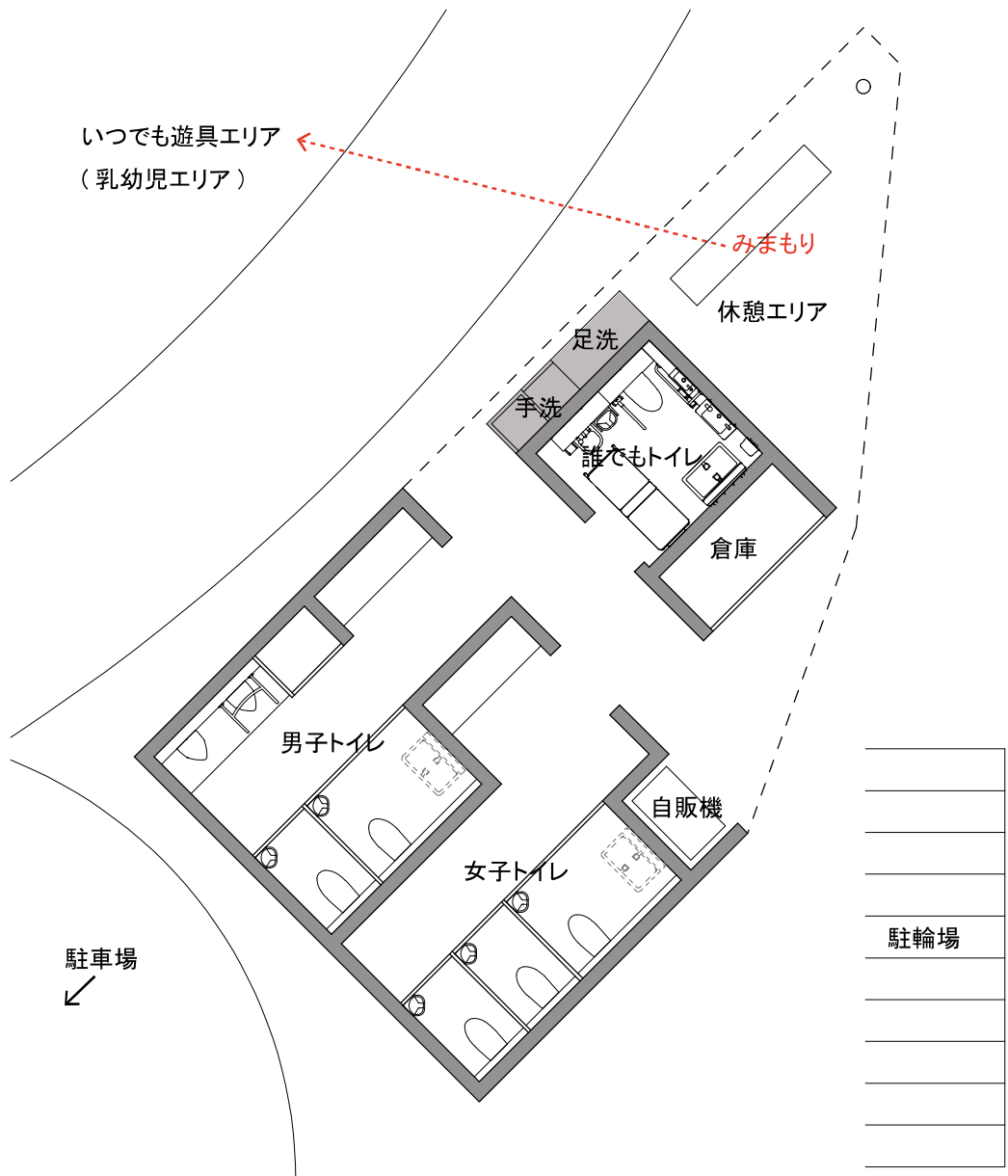
南東 立面図

平面図 

2026/06/28 scale:1/500

■サポートセンター

- 乳幼児エリアに近い位置に、トイレと休憩所の機能を備えたサポートセンターを設置します。
- トイレは自然光を利用した採光を取り入れます。車椅子利用からオストメイトや大型ベッド等バリアフリーに対応します。
- キャンプ場のビジターセンターからも確認しやすい位置に配置します。
- 休憩ベンチからキッズプレイルーフを眺め見守ることができます。



平面図 scale:1/100



遊具

多世代それぞれが楽しめるインクルーシブなあそび体験。4つの特徴ある遊具と芝生のエリアを用意します。

1 FRE3025
バスケットゴール



2 FRE6012
ケージコート



3 FSW236
ツイスト&フレックス
ホイール



4 FSW231
バランスボード



5 FSW24601
バイク①



6 FSW24601
バイク②



イベントにも対応可能な大屋根を芝生側に開くように配置し、ひろばのシンボル全天候でスポーツが可能

スポーツ芝生エリア

イベント・芝生エリア

大事な保安林エリアは触れせずネイチャープレイエリアとして自然に溶け込む居場所を整備

ネイチャープレイエリア

7 NRO815
ハンモック



8 CRP250901
モンキートレイルズ



9 PCM726640
海賊船



10 MSC5416
ジャングルアドベンチャー



11 MSC5417
トドラークャッスル



12 M186
お庭のシーソー



13 ELE400065
ティビーカーセル(回転遊具)



14 KSW92011
3連ブランコ



15 NRO508
ウォーターシーソー



遊具リスト

- ・日本公園施設業協会が定める「遊具の安全に関する規準(2024年4月)」および国土交通省の「都市公園における遊具の安全に関する指針」に基づいた安全基準を満たした遊具を設置。
- ・対象年齢や使用人数をサインおよびシール貼付にて明示する。
- ・適切な安全距離を確保する。

名称	対象年齢	特徴
1 バスケットゴール	小学生～シニア	バスケットを楽しむシンプルな形
2 ケージコート	小学生～シニア	1on1サッカーのできるケージコート
3 ツイスト&フレックスホイール	中高生～シニア	ひねる動きで上半身の可動域を向上させる
4 バランスボード	中高生～シニア	揺れるボードの上で絵柄をタッチし体幹を鍛える
5 シティバイク①	中高生～シニア	負荷を調整して漕ぐ下半身強化の有酸素運動
6 シティバイク②	中高生～シニア	負荷を調整して漕ぐ下半身強化の有酸素運動
7 ハンモック	3-6歳	揺れを楽しむ遊具
8 モンキートレイルズ	6-12歳	ネットの森を渡り四肢を動かす
9 海賊船	3-6歳	空間のシンボルにもなる海賊船
10 ジャングルアドベンチャー	1-3歳	ネットに上ったりくぐって隠れる仕掛け
11 トドラークャッスル	1-3歳	色彩豊かな幼児期のステップすべり台
12 お庭のシーソー	3-6歳	ひとつのゆれを数人で楽しめるシーソー
13 ティビーカーセル	3-6歳	回転をたのしむ遊具
14 3連ブランコ	6-12歳	力が弱い子も楽しめる皿型ブランコ付
15 ウォーターシーソー	3-6歳	あそびながら水の原理を学べるシーソー

トイレ・休憩・展望台は一体の建物とし、いつでも遊具エリアに近いため、子育て世代の安心を提供。展望台へはすべり台としても遊べる人工芝斜面でつながり、屋上からは雄大な大山を一望。屋根付きでいつでも遊べる遊具エリアを安心して使いやすい入口すぐに配置

scale:1/500











